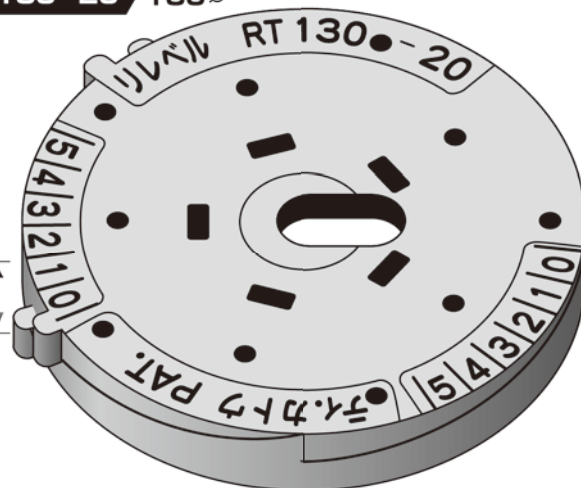
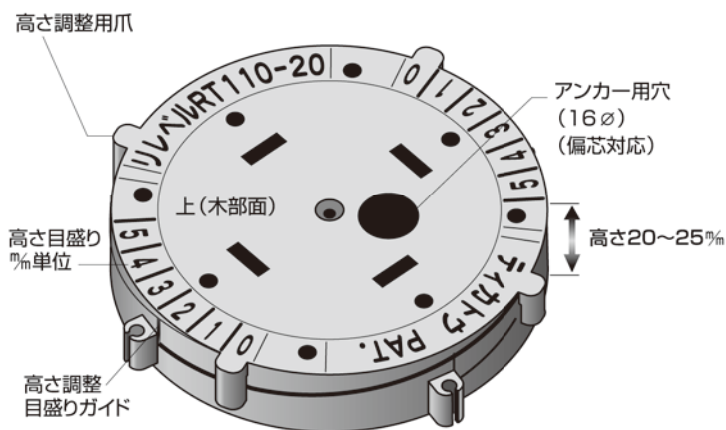


施工説明書

RT110-20 110φ

RT130-20 130φ

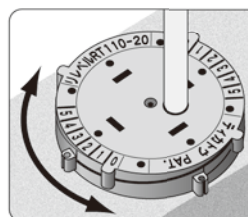


注意

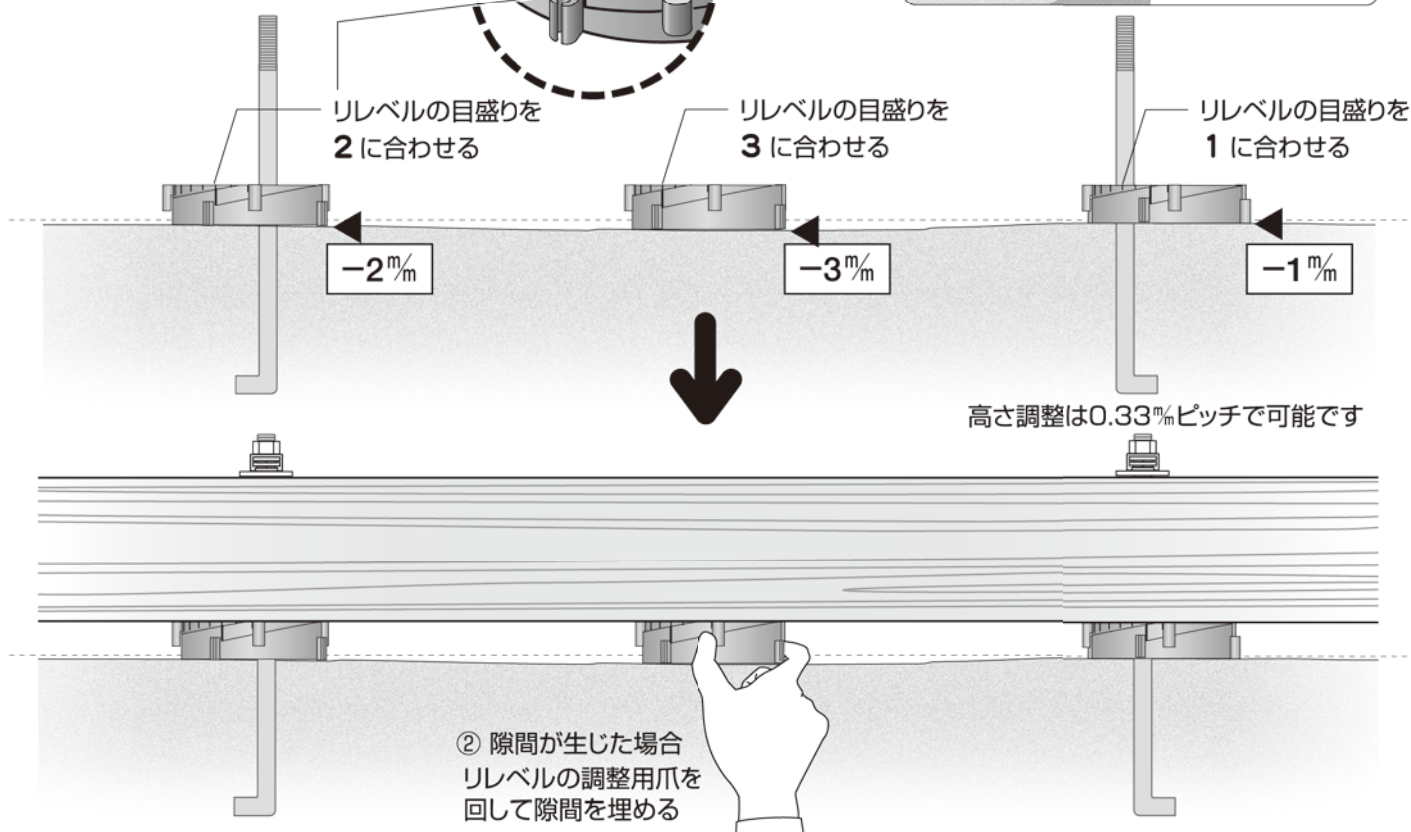
●換気量の確保のため4m以内に概ね20個以内で使用して下さい。
(4mで300cm²の換気面積が必要です)

高さ調整方法

- ① 基礎天端を水平にする場合
(基礎の一番高い場所を
基準にして下さい)



アンカーボルトが
基礎の芯から
ズれている場合は
リレベル全体を回して
調整して下さい。



- ③ メンテナンスで隙間が生じている場合も②と同じように調整爪を回して隙間を埋めて下さい。

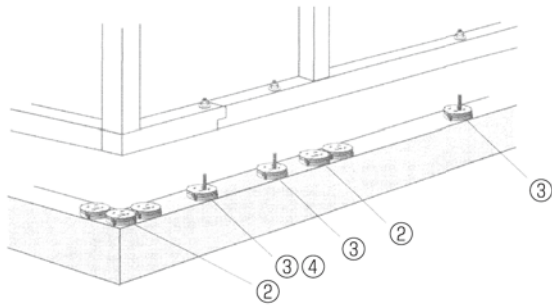
注意

●破損の原因となりますので、本体をたたく、高所から落下させるなど、強い衝撃は与えないで下さい。

土台105の場合

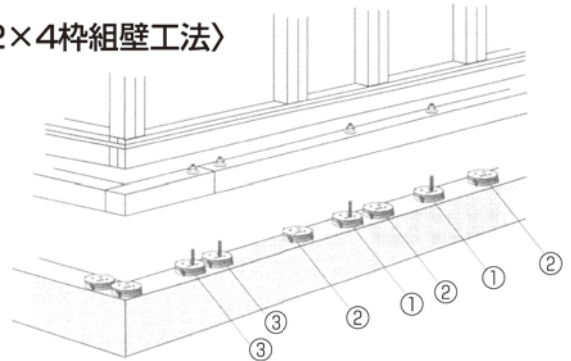
■施工(使用箇所) ※リレベルは基礎の外回りも中回りも使用して下さい。

〈在来軸組工法〉



- ①間隔は概ね3尺ピッチ
- ②柱の下や大引など荷重が集中する部分
- ③アンカーボルト部分
- ④土台の継手に掛かる部分

〈2×4枠組壁工法〉



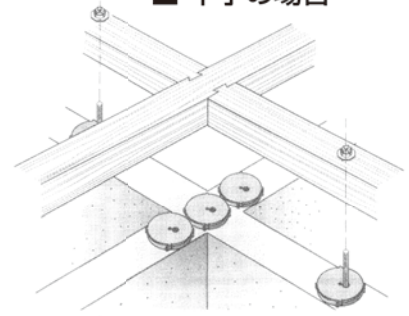
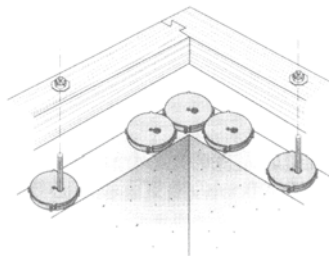
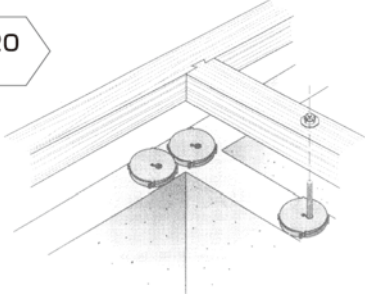
- ①間隔は概ね3尺ピッチ(1m以内)
- ②2本以上スタッドがある部分や構造用合板の継ぎ目部分
- ③アンカーボルト部分
- ④土台の継手に掛かる部分

■ T字の場合

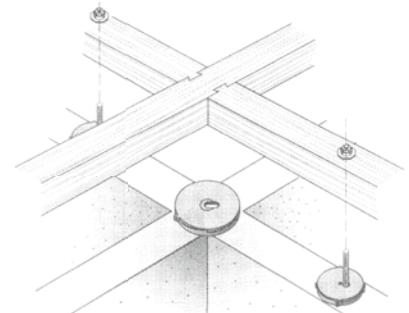
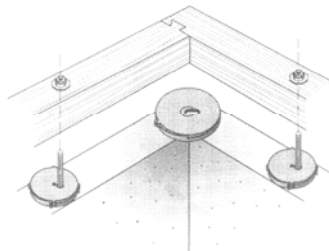
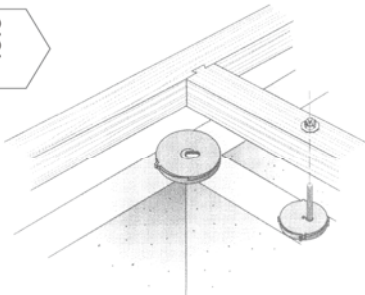
■ L字の場合

■ 十字の場合

RT110-20
使用

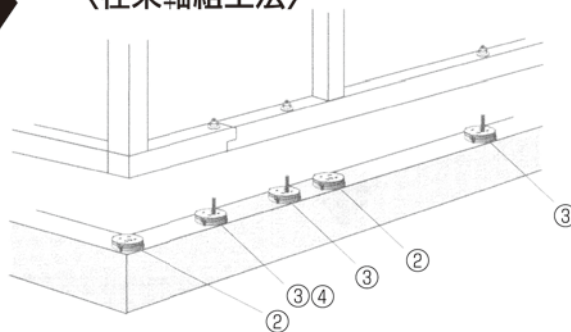


RT110-2
RT130-2
併用



土台120の場合

〈在来軸組工法〉



- ①間隔は概ね3尺ピッチ
- ②柱の下や大引など荷重が集中する部分
- ③アンカーボルト部分
- ④土台の継手に掛かる部分

■ T字の場合

■ L字の場合

■ 十字の場合

RT130-20
使用

